

添付資料 5

土地の利用履歴等調査概要

令和3年5月

【目次】

1. 調査対象地.....	1
2. 調査期間.....	1
3. 土地利用履歴調査結果概要.....	2
4. 地形・地質調査及び活断層調査.....	8
5. 浸水実績等状況調査.....	11

## 1. 調査対象地

- (1) 所在地 横須賀市追浜本町一丁目 116 番 4、116 番 5
- (2) 地目 宅地
- (3) 敷地面積 約 7,916 m<sup>2</sup>
- (4) 所有者 神奈川県

<調査対象地位置図>



地図データ出典：国土地理院

## 2. 調査期間

令和 2 年 11 月 27 日～令和 3 年 5 月 11 日

### 3. 土地利用履歴調査結果概要

#### (1) 調査項目、調査内容及び調査方法

調査項目	調査内容
登記簿等による土地利用履歴調査	調査対象地内の土地のうち、主な土地について、全部事項証明書、(移記)閉鎖登記簿謄本及び土地台帳(以下、この2つを合わせて「閉鎖登記簿謄本等」という。)を収集し、所有者の変遷、地目の調査を行った。
地図、航空写真による土地利用履歴調査	調査対象地及びその周辺地域の資料(旧地形図、旧住宅地図及び航空写真)を収集し、土地利用の変遷の調査を行った。
現在の調査対象地及び周辺の土地利用状況の調査	調査対象地及びその周辺地域の現地調査により、現在の土地利用状況の調査を行った。
有害物質使用特定施設の設置や、管理有害物質の使用履歴等の調査	上記各種資料の確認及び現地調査により、水質汚濁防止法第2条第2項に規定する有害物質使用特定施設又は有害物質使用届出施設の設置や管理有害物質の使用等の履歴についての調査を行った。

#### (2) 調査資料

調査資料	入手方法
全部事項証明書、(移記)閉鎖登記簿謄本	横浜地方法務局横須賀支局 発行
旧地形図	神奈川県立図書館所蔵 旧地形図 及び 国土地理院近畿地方測量部所蔵旧地形図(閲覧) 確認
旧住宅地図	神奈川県立図書館所蔵 旧住宅地図 確認
航空写真	国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス 確認
調査対象地及びその周辺地域の現況写真	現地調査時に撮影(令和3年2月10日)

### (3) 調査結果概要

#### ①登記簿等による土地利用履歴調査

調査対象地の登記簿等による調査結果は以下のとおりである。

#### <追浜本町一丁目 116 番 4 土地の変遷>

地番		時期	登記変更事由	地目
追浜本町 一丁目	116 番 1	—	—	畑
		昭和 13 年 12 月	海軍共済組合用地成	共済組合敷地
		昭和 40 年 10 月 9 日	43 番 12、114 番 3、116 番 2、116 番 3、117 番 1、118 番 1～9、119 番 1、119 番 2 を合筆	宅地
	116 番 1、4、5、6 に分筆			
116 番 4	116 番 1 から分筆			

#### <追浜本町一丁目 116 番 5 土地の変遷>

地番		時期	登記変更事由	地目
追浜本町 一丁目	116 番 1	—	—	畑
		昭和 13 年 12 月	海軍共済組合用地成	共済組合敷地
		昭和 40 年 10 月 9 日	43 番 12、114 番 3、116 番 2、116 番 3、117 番 1、118 番 1～9、119 番 1、119 番 2 を合筆	宅地
	116 番 1、4、5、6 に分筆			
116 番 5	116 番 1 から分筆			

本事業の対象となる追浜本町一丁目 116 番 4 及び 116 番 5 土地は、上記変遷のとおり、昭和 13 年 12 月まで遡ることにより、地目が畑であったことを確認できた。

また、元番である 116 番 1 は昭和 40 年 10 月 9 日に複数土地を合筆しているが、当該合筆地番においても昭和 13 年 12 月まで遡ることにより、地目が畑又は池沼であったことを確認している。

なお、元番 116 番 1 及び昭和 40 年 10 月 9 日に合筆した複数土地（43 番 12、114 番 3、116 番 2、116 番 3、117 番 1、118 番 1～9、119 番 1、119 番 2）はいずれも昭和 12 年 8 月 4 日に横須賀海軍共済組合病院が 116 番 1 土地の所有権を取得し、地目が共済組合敷地となっていた（116 番 3 は法務局において閉鎖登記簿謄本等が保存されていない）。

## ②地図、航空写真による土地利用履歴調査

旧地形図、旧住宅地図及び航空写真による調査対象地の土地利用履歴の調査結果は下表のとおりである。

調査対象地は、現在の利用状況である公営住宅（県営追浜第一団地）以前も建物の敷地（宅地）として利用されており、それ以前は周辺も含め概ね畑又は池沼として利用されていたこと、昭和 37 年頃以降、現在に至るまで調査対象地は公営住宅（県営追浜第一団地）の敷地として利用されていることを旧住宅地図（昭和 42 年～）、旧地形図（大正 10 年～）航空写真（昭和 21 年～）により確認した。

年代	根拠資料		調査対象地土地利用状況
1920 年代	旧地形図	1921 年（大正 10 年）	畑、池沼
1930 年代	—		—
1940 年代	航空写真	1946 年（昭和 21 年）	宅地
	旧地形図	1948 年（昭和 23 年）	
1950 年代	旧地形図	1953 年（昭和 28 年）	
	航空写真	1956 年（昭和 31 年）	
1960 年代	航空写真	1961 年（昭和 36 年）7 月	
	旧地形図	1962 年（昭和 37 年）	建設中、公営住宅（A～E 棟）
	航空写真	1963 年（昭和 38 年）6 月	
	航空写真 旧住宅地図	1965 年（昭和 40 年）11 月 1967 年（昭和 42 年）	
1970 年代	旧住宅地図	1971 年（昭和 46 年）	公営住宅
	航空写真	1975 年（昭和 50 年）	
	旧地形図	1978 年（昭和 53 年）	
1980 年代	旧住宅地図	1981 年（昭和 56 年）	
	航空写真	1983 年（昭和 58 年）	
	旧地形図	1989 年（平成元年）	
1990 年代	旧住宅地図	1992 年（平成 4 年）	
	旧地形図	1995 年（平成 7 年）	
	航空写真	1997 年（平成 9 年）	
2000 年代	旧住宅地図	2001 年（平成 13 年）	
	航空写真	2005 年（平成 17 年）	
2010 年代	住宅地図	2017 年（平成 29 年）	
	航空写真	2019 年（平成 31 年）	

### ③現在の調査対象地及び周辺の土地利用状況の調査

#### a) 調査対象地の土地利用状況

現在、調査対象地は追浜第一団地として利用されている。

#### 調査対象地の現在の土地利用状況



① (B棟西側通路)



② (右手前からD棟、F棟)



③ (左側C棟、中央：A棟)



④ (左奥：E棟、右手前：D棟)

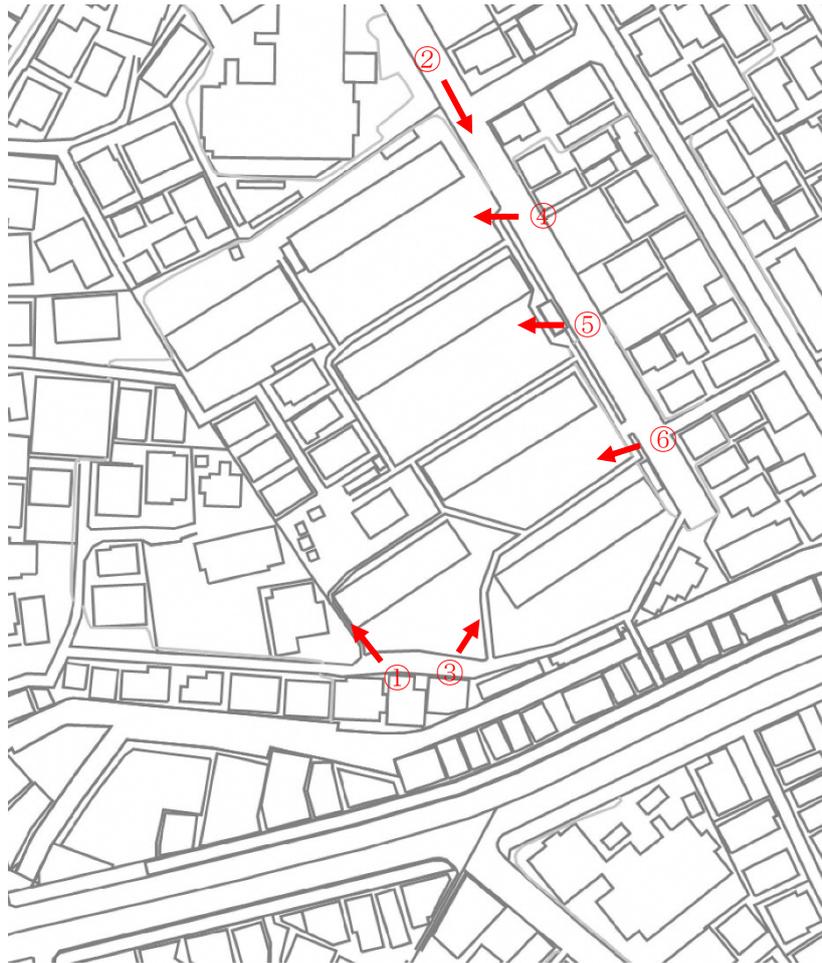


⑤ (F棟)



⑥ (左奥：B棟、右側：C棟)

【写真撮影位置】



b) 周辺の土地利用状況

調査対象地の北側には共同住宅及び戸建住宅、東側には市道を挟んで戸建住宅が、西側には戸建住宅、南側には通路を挟んで戸建住宅及び店舗併用住宅等が存する。

①有害物質使用特定施設の設置や、管理有害物質の使用履歴等の調査

土壤汚染対策法に規定する要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定、並びに、水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設及び下水道法の特定施設の届出はなされておらず、土壤汚染対策法施行後において、調査対象地に土壤汚染を生じさせるおそれがあると思われる施設が存在したことも確認されなかった。

②土地利用履歴調査結果まとめ

調査対象地は、①登記簿等による土地利用履歴調査、②地図、航空写真による土地利用履歴調査及び③現在の調査対象地及び周辺の土地利用状況調査の各調査結果より、昭和 36～38 年頃より現在に至るまで県営追浜第一団地の敷地として利用されてきているが、それ以前は公営住宅とは別の用途である建物（所有者：横須賀海軍共済組合病院）の敷地として利用されていた模様である。

そのため、調査対象地については、土壤汚染対策法に規定する要措置区域及び形質変更時要届出

区域の指定、並びに、水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設及び下水道法の特定施設の届出はなされていないが、現在の利用状況以前における所有者の状況から判断すると土壤汚染の存在の端緒を完全に排除することはできない。

#### 4. 地形・地質調査及び活断層調査

##### (1) 調査項目、調査内容及び調査方法

調査項目	調査内容
調査対象地周辺の地形・地質概要	調査対象地周辺の地形・地質に関する資料（地形分類図、表層地質図）を収集・閲覧し、地形・地質に関する概況調査を行う。
調査対象地周辺の活断層	調査対象地周辺の活断層に関する資料を収集・閲覧し、地形・地質に関する概況調査を行う。

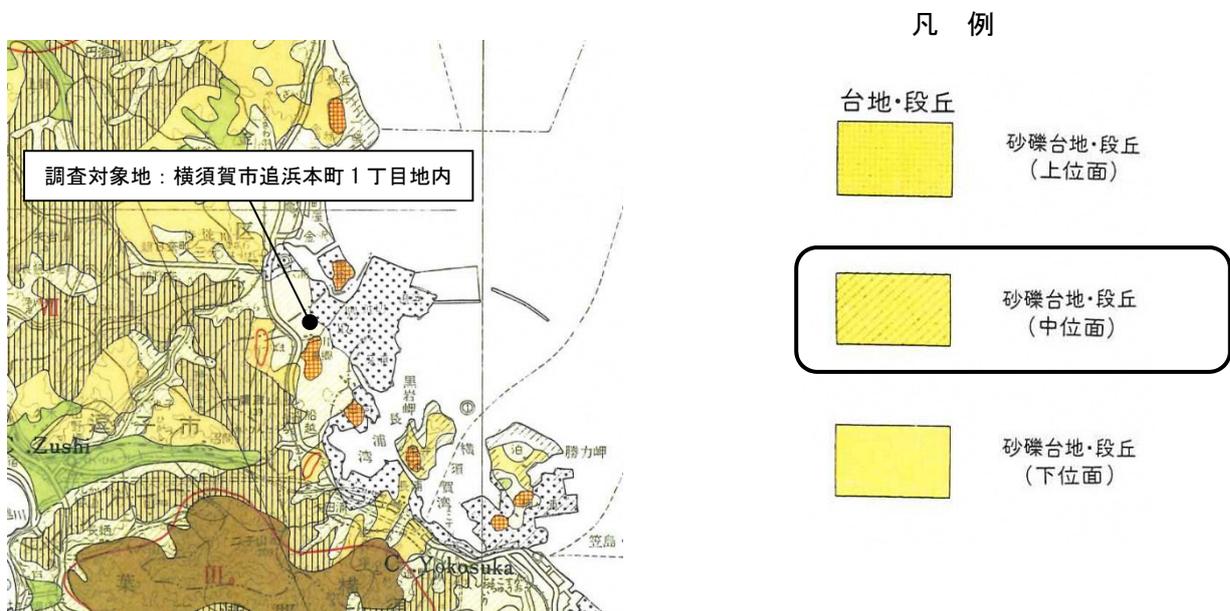
##### (2) 調査資料

調査資料	資料名
地形分類図、表層地質図	土地分類図（神奈川県）1975年 国土庁土地局
活断層関連資料	神奈川県暮らし安全防災局防災部危機管理防災課ホームページ「神奈川県の活断層」、横須賀市市民部危機管理課「横須賀市震度マップ」

##### (3) 調査結果概要

###### ①地形概要

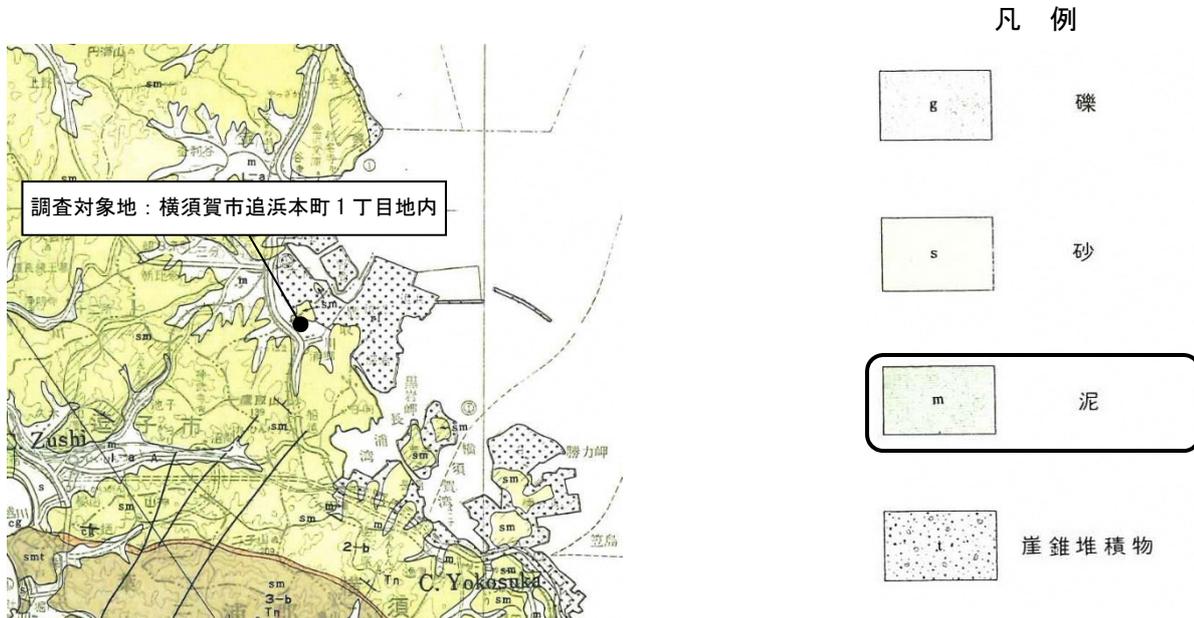
下図に示されるとおり、調査対象地の地形地域区分は「三浦丘陵」に属しており、砂礫台地・段丘（中位）におおよそ位置する。



資料出典：土地分類図（神奈川県）1975年 国土庁土地局

## ②地質概要

下図に示されるとおり、調査対象地の表層地質は、未固結堆積物である「泥」から形成され、各平野の後背湿地の泥がち沖積層、各丘陵、台地の侵蝕谷底を埋める泥がち沖積層で、泥炭、腐植物に富む。



資料出典：土地分類図（神奈川県）1975年 国土庁土地局

### ③活断層位置概要

神奈川県くらし安全防災局防災部危機管理防災課によると、県では、1995年の兵庫県南部地震以降、神奈川県内の主要な活断層の調査を進めている。

県内には、神縄・国府津－松田断層帯、三浦半島北断層群（衣笠断層、北武断層、武山断層）、三浦半島南断層群（南下浦断層、引橋断層）、伊勢原断層、秦野断層、渋沢断層が分布している。

神奈川県内の主な活断層

断層名	長さ	活動度	最新活動時期	平均活動間隔	評価の概要
神縄・国府津－松田断層帯	約 16km＋海域	A（一部 B、C）	650～900 年前	1000～1100 年	次の活動は今後数百年以内に起こる可能性が高い
三浦半島北断層群	20km 衣笠断層：13km 北武断層：12.5km	A～B	500～1000 年前	1000～16000 年前	次の活動は今後数百年以内に起こる可能性が高い
三浦半島南断層群	7km＋海域 南下浦断層：3.7km 引橋断層：1.9km	B～C	2.2 万～2 万年前	不明（6100 年以上）	次の活動は不明です。三浦半島北断層群に比べて活動度は低いと推定
伊勢原断層	約 13km	B	2000 年前以降、西暦 1707 年以前	3300～5000 年	次の活動まで千数百年以上の時間があると推定
秦野断層	約 3.5km	A～B	約 1.7 万年前またはそれ以降	不明	国府津－松田断層の活動に付随して活動する可能性あり
渋沢断層	約 6km 渋沢西断層：1.7km 渋沢東断層：5.4km	A～B	1 万年以降に活動があった可能性が高い	不明	活動時期は明らかでないが、神縄・国府津－松田断層の活動に付随して活動する可能性あり

神奈川県くらし安全防災局防災部危機管理防災課「神奈川県内の活断層」より

これらのうち、横須賀市では、平成 27 年 3 月に県が公表した「神奈川県地震被害想定調査」のデータを基に市に甚大な影響を及ぼすと予測されている地震（三浦半島断層群を震源とする地震、大正型関東地震）を想定地震として「震度マップ」を作成しており、調査対象地においては、三浦半島断層群を震源とする地震では震度 6 強（液状化危険度高い）、大正型関東地震では震度 6 強（液状化危険度極めて高い）となっている。

## 5. 浸水実績等状況調査

### (1) 調査項目、調査内容及び調査方法

調査項目	調査内容
公表資料による浸水実績等の調査	調査対象地周辺の浸水状況に関する資料（浸水実績図、洪水浸水想定区域図等）を収集・閲覧し、過去の浸水実績や想定される浸水区域に関する概況調査を行う。

### (2) 調査資料

調査資料	資料名
浸水実績等関連資料	横須賀市上下水道局計画課「浸水実績図」（閲覧）
浸水想定区域等関連資料	神奈川県土木整備局河川下水道部「河川の氾濫による洪水浸水想定区域図」「高潮浸水想定区域図」 横須賀市市民部危機管理課「横須賀市洪水ハザードマップ」「津波ハザードマップ」

### (3) 調査結果概要

#### ① 浸水履歴による調査

横須賀市上下水道局計画課が過去の大雨による浸水被害個所を整理した「浸水実績図」に基づき、調査対象地において、浸水履歴がないことを確認した。

#### ② 浸水想定区域図等による調査

鷹取川の水位周知区間において想定し得る最大規模（24時間総雨量327mm）の降雨による「洪水浸水想定区域図」「横須賀市洪水ハザードマップ」に基づき、調査対象地は、洪水浸水想定区域に指定されていないことを確認した。

想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）、浸水した場合に想定される浸水の深さ（浸水深）、浸水の継続時間（浸水継続時間）を示した「高潮浸水想定区域図」に基づき、調査対象地は、浸水区域（浸水深：0.3m～0.5m、浸水継続時間：12時間未満または浸水深0.5m未満）に指定されていることを確認した。

また、平成27年3月に神奈川県が発表した震源の異なる9の地震の津波浸水予測図を基に作成した「津波ハザードマップ」によると、調査対象地は、津波警報（1～3m）で浸水が予想される区域であるランク1に指定されていることを確認した。